

921

本説
三莊太夫全



4574/23





三莊大夫
万珠姫
七非道
不責殺ス

三莊大夫

四郎

万珠姫

三

四



四郎

三莊大夫

三莊大夫
父子刑
せらるゝ
因



三莊大夫
父子刑
せらむ
圖

四郎

三莊大夫



されあ
 まろさい
 若君醫
 王丸をも
 殺さんと
 計りせ
 忠臣大村
 信純
 母君姉
 君三方
 伴ひ
 落し
 ころに逃手向け

万珠姫
 殺王丸

前後もあ
 目もま其夜
 賊の為か何
 され親別々
 不丹のせら
 れるけ
 けさ
 丹別法
 右別法
 れ母
 君ハ
 佐
 行
 丸
 政

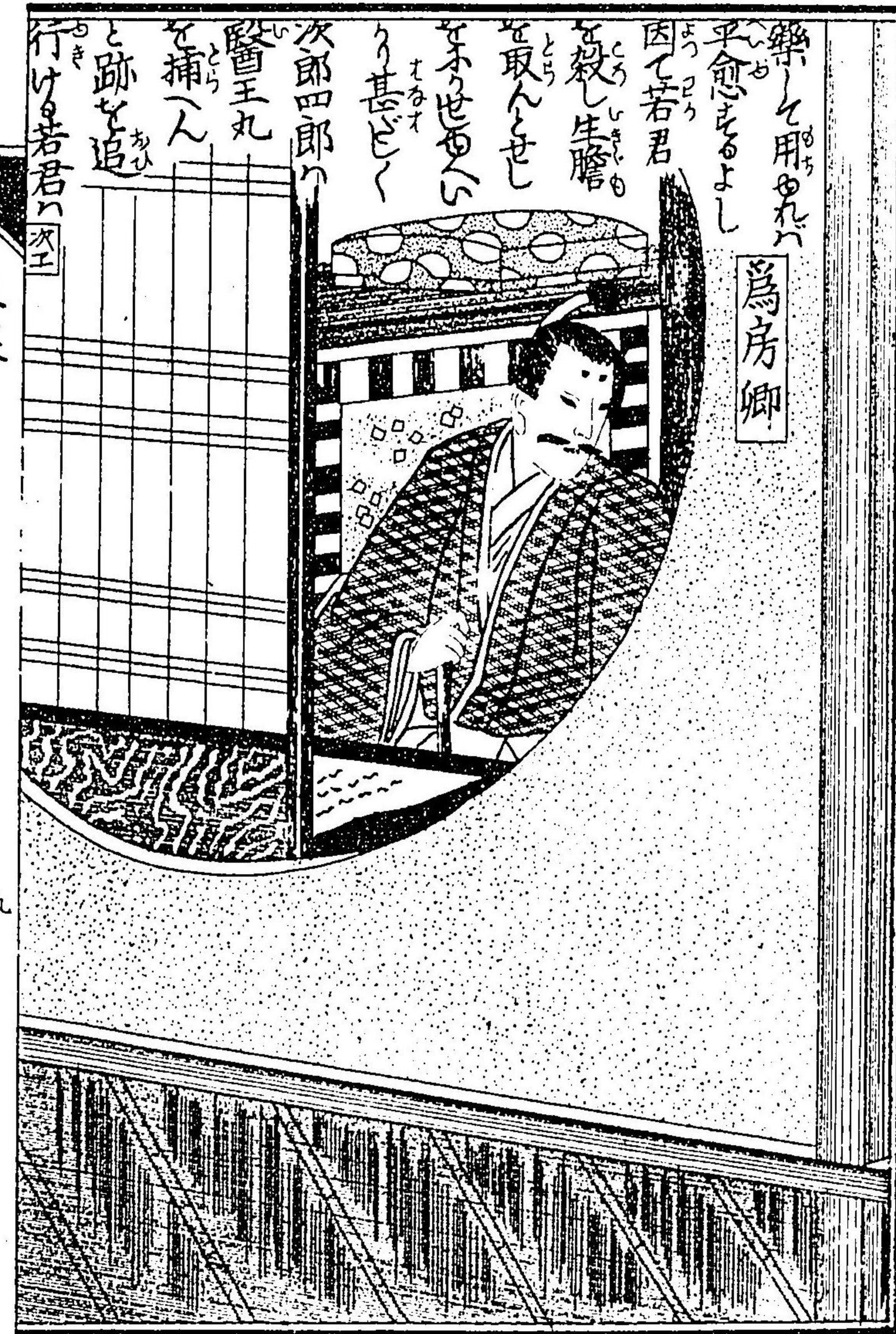


茲小奥州
 國守三莊大夫
 岩城常陸助
 正道の逆臣
 村岡重頼が
 奸計よて
 遂に暗殺
 され
 城地
 を押領

大村が
 正まり
 三方を
 越前國
 へと落さ
 討死
 方へ入
 造れ
 らね旅路
 行日と
 越後國の
 しく勞れと
 の辻堂









菩薩の箔代
 と建立せんと古まつらへん
 ありとらふ(其中)
 隠し棚あけ左あね
 体居り死に次郎
 四郎大
 勢子
 来りて
 小悴遊ん
 小相
 違は早く
 出せと内入家
 玉綾姫



五里計行
 跡より追
 人の来り故横
 道の寺に醫王丸
 げこ僧
 跡より道人の
 救ひ
 涙と俱
 不宣
 院主の地藏

地藏尊の本像多し外
 けしとほ此
 坊主を真
 千叩く僧
 地藏尊の
 盃を尊
 念ひ
 侍女



殊不利発ありて為房卿の息女
 手緩ひの慕戀しる侍女不持
 印章を送ると雖も
 勇心を動かさば
 后為房卿其
 ことを聞て
 益感し遂に
 夫婦と成り
 夫夫婦置置
 王丸十才ふのりし
 故為房卿岩城家醫王
 丸のこと奏聞しけり本参内
 を免えん悉くも勅勅詔あり

村岡重頼



小兄弟の艱難孝心と師隣あり
 官軍馳来り次第本国へ下向し父の
 敵と討て孝を全し大炊助道
 隆と名乗しと
 勅命あり醫王丸
 深聖意と謝し奉る
 直に畿内官軍馳集り
 大炊助惣大将して奥州
 へ下向し日多し村岡と
 討亡じ京都とに凱陣
 あり早速不天顔を拜し
 此度の賞として丹後の守護
 小任せられしなり母君の

大炊助



居新と申迎ひたるは
太次郎四郎全所
刑奉行三郎八賞と云ふ

大炊助

三莊太夫

明治廿一年七月一日印刷
全 年 旬 七 出版
印刷兼発行者
日本橋區横町早田野地
若井綱島龜吉

